

環 境 方 針

【基本方針】

三菱重工グループは社是の第一条に「顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する」と明示し、研究開発、生産活動など事業活動を通じて、社会の発展に寄与することを第一義としている。したがって三菱重工グループ会社である当社も、社業を遂行するにあたっては、企業が社会の一員であることを自覚し、事業活動の全ての領域で、環境への負荷の低減に努めるとともに、当社の総合技術力を結集し環境を保全・保護する技術や製品を開発することにより、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

【行動指針】

1. 環境保全・保護への取り組みを経営の最重要課題のひとつと位置づけ、全社を挙げてそれらの向上に取り組む。
2. 環境保全組織体制、環境関連規程等を整備し、環境保全・保護に関する役割と責任を明確にする。
3. 製品の研究開発、設計、原材料の調達、製造、輸送、使用、サービス、廃棄に至る事業活動の全ての領域で、汚染の防止、省資源、省エネルギー、廃棄物の発生抑制等環境への負荷の低減に努める。
4. 環境・エネルギー問題の解決に貢献する高度で信頼性が高い技術や製品の開発、提供に努める。
5. 環境関連法規、条例等を遵守するとともに必要に応じて自主基準を定めて運用、評価するとともに、環境目的および目標を設定して、環境保全・保護活動の継続的な改善、向上に努める。
6. 本環境方針について、ステークホルダーの理解を得るとともに連携して環境の保全・保護に努める。
7. 環境教育等を通じて全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境に関する情報提供等広報活動や社会貢献活動を積極的に推進する。

2024年 4月 1日

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

取締役社長 伊藤 喜啓